

やまなし栄養教諭育成指標一覧表(案)

ステージ		採用時	全ステージ	
教職としての素養	と社 し会 て人	法令遵守	法令を遵守する態度を身につけ、協働的に物事を進めようとしている。	
		自立	高い倫理観を持ち、法令を遵守している。	
		協働・創造	豊かな人間性と深い教養を持ち、自立している。	
	教員として	使命感・責任感	教職に対する使命感、望ましい教育観、学び続けていく意欲を身につけている。	教育公務員としての崇高な使命と責任感を持って教育にあたっている。
		教育的愛情	児童生徒一人一人に愛情を持ち、未来の山梨を担う人材を育成している。	児童生徒一人一人に愛情を持ち、未来の山梨を担う人材を育成している。
		意欲	時代の変化に対応し、自らの資質能力・実践力を向上させようとしている。	時代の変化に対応し、自らの資質能力・実践力を向上させようとしている。
		研究能力	継続的かつ積極的に授業研究を行い、児童生徒に深い学びを提供している。	継続的かつ積極的に授業研究を行い、児童生徒に深い学びを提供している。

ステージ		採用時	第1ステージ 実践力養成期	第2ステージ 専門性充実期・協働力養成期	第3ステージ 指導力・協働力完成期	
ステージのあるべき姿		教育に対する情熱と使命感を有し、今日の教育的課題を積極的にとらえようとしている	実践力を磨き、教員としての基礎を築いている	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化している	豊富な経験と広い視野から総合的な指導力・協働力を発揮し、積極的に学校運営を支えている	
生徒指導	児童生徒理解	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	面談や日々の声かけにより、児童生徒の気持ちに寄り添った指導をしている。	きめ細かな観察や励ましにより、児童生徒の意欲を高めている。	カウンセリングの技法等を用いて、一人一人の生き方を考えさせる支援をしている。	
	道徳性の涵養		児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導をしている。	児童生徒に他者との関わり方について考えさせ、道徳的判断力を高める指導をしている。	児童生徒が、主体的な判断に基づき道徳的実践力を発揮できるよう指導をしている。	
特別支援教育		個別の教育的ニーズを把握し、特別支援教育の重要性を理解している。	児童生徒の学習上・生活上の困難さの実態をとらえ、個別の支援をしている。	特別支援教育に関する専門性を高め、関係諸機関と連携・協働し、効果的な指導をしている。	校内支援体制の充実や合理的配慮の提供に指導力を発揮している。	
新たな教育課題	グローバル化への対応	新たな教育課題について関心を持ち、最新の知識を収集している。	ふるさと山梨を深く理解し、地球的視野に立って主体的に行動する児童生徒を育成している。			
	情報推進教育		ICT活用能力	ICTを活用して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を展開している。		
			情報モラル	情報モラルを身につけ、情報を有効に活用できる児童生徒を育成している。		

栄養教諭としての専門性	栄養管理	学校給食の役割について理解している。	学校給食摂取基準に基づき、食品構成を考慮した献立を作成している。	児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。	献立作成や調理指導の方法に関し、地域において指導的立場を果たしている。	
	衛生管理	衛生管理の重要性について理解している。	学校給食衛生管理基準に基づき、指導、助言をしている。	施設の課題を的確に捉え、衛生管理の充実のための指導・助言をしている。	調理から喫食までの衛生管理に関して、地域において指導的立場を果たしている。	
	個に応じた対応・指導	児童生徒の実態把握と個別の栄養相談の重要性を理解している。	児童生徒の課題を把握し、対応・指導を行っている。	児童生徒の健康状況に応じて、保護者と連携し対応・指導を行っている。	児童生徒の課題を総合的にとらえ、職員や保護者と連携して対応・指導をしている。	
	連携・協働	同僚や保護者等との連携の重要性を理解している。	同僚や保護者等と望ましい信頼関係を構築して、課題に対応している。	関係諸機関と連携・協働して、食育を推進している。	関係諸機関との連携・協働を強化し、食育の充実を図っている。	
	研修	研修会等への参加や実態把握調査の意義を理解している。	児童生徒の実態把握や研修会等で学んだことを給食の運営や食育に生かしている。	児童生徒の実態調査や研修会等で得た情報を学校全体の食育の取組に生かしている。	情報を広く発信して、自校の教育活動に生かしている。	
	食に関する指導	指導計画の立案と推進	教育活動全体を通して食育を推進することを理解している。	食に関する指導計画を理解し、実施している。	指導計画の立案に中心的な役割を果たし、食育を推進している。	指導計画に基づいた食育を推進・評価・分析し、改善の中心的な役割を担っている。
		学校給食の活用		学校給食の献立や使用されている食品を活用し、効果的な指導を工夫している。	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。	学校給食の活用について、教職員に対する指導的役割を果たしている。
		教科等における指導		教科等の特色やねらいを理解し、指導と評価の計画を共有している。	教職員と連携して、教科等の指導内容、評価の計画作成を行っている。	教科等の指導内容・評価について、専門性を生かし助言を行っている。
		発達段階・実態に応じた指導		集団や個人の食に関する課題を把握し、発達段階に応じた指導を行っている。	指導内容の評価・分析を行い、より効果的な指導に向けて改善を行っている。	